

平成28年度

わかりやすいかさまの予算

～ みんなで創る 文化交流都市 ～

はじめに

笠間市では、社会情勢の変化に的確に対応した、独自性・自主性の高いまちづくりを進めるための指針として「笠間市総合計画」を策定しています。その計画に基づき「住みよいまち 訪れてよいまち 笠間」～みんなで創る 文化交流都市～の実現に向けて各種施策を展開しています。

平成28年度は、「まち・ひと・しごと創生（人口減少対策と地方創生）」を目的に策定した「笠間市創生総合戦略」を基本とし、「住む」質の向上につながる人・街・モノ（産業）づくり～「交流と連携」の重点化～を目指した取り組みを推進するため、「交流と連携による人が活躍する環境の構築」、「交流する場と連携する仕組みの確立」、「交流と連携の促進による産業の活性化」の3点を重点課題として位置づけ、予算を編成いたしました。

「人づくり」では、教育を含めた少子化対策をはじめ、生涯をとおして活躍するための、ライフステージ、ライフスタイルに応じた支援等を推進します。

「街づくり」では、市内外の双方において、交流や活動を活性化する拠点の形成、人口減少、高齢化社会に対応したコミュニティづくりといった場の構築を推進します。

「モノづくり」では、国内外の双方を意識した情報発信力の強化や販路拡大、地域資源や環境を生かした産業の支援等を推進します。

笠間市の予算について、市民の皆さまに納めていただいた税金などが、どのように使われるのかをお知らせするため、「わかりやすいかさまの予算」を作成いたしましたので、どうぞご覧ください。

これからも「開かれた市政、情報公開」を理念に、信頼できる行政をめざしていきますので、今後とも、市政へのご理解とご協力をいただきますようお願い申し上げます。

平成28年3月

笠間市長 山口伸樹

目 次

I. 予算の概要	1
II. 国の補正予算に伴う繰越事業	2
地方創生加速化交付金を活用した事業	2
TPP関連政策大綱実現に向けた事業	3
その他国の補正予算に伴う繰越事業	3
III. 主な重要事務事業	4
交流と連携による人が活躍できる環境の構築	4
交流する場と連携する仕組みの確立	6
交流と連携の促進による産業の活性化	8
重点課題以外の重要事務事業	8
IV. 平成28年度重要事務事業	10
V. 各会計の予算額	12
一般会計	12
国民健康保険特別会計	16
後期高齢者医療特別会計	16
介護保険特別会計	17
介護サービス事業特別会計	17
公共下水道特別会計	18
農業集落排水事業特別会計	18
岩間駅東土地区画整理事業特別会計	19
市立病院事業会計	20
水道事業会計	21
工業用水道事業会計	21
VI. 基金の状況	22
VII. 市債の状況	24
VIII. 合併特例債の使い道	26

I. 予算の概要

平成28年度笠間市の予算規模（一般会計、特別会計及び企業会計予算の合計）は過去最大の549億7,203万9千円であり、前年度と比較すると21億6,273万2千円（4.1%）の増となっています。

一般会計の13億3,000万円（4.6%）の増と病院事業会計の7億1191万5千円（94.7%）の増が主な要因となっています。



笠間特別観光大使
笠間のいな吉®

【平成28年度会計別予算状況】

（単位：千円,%）

会計名	平成28年度 予算額	平成27年度 予算額	比較 増減額	比較 増減率
一般会計	30,450,000	29,120,000	1,330,000	4.6
特別会計	20,547,320	20,402,620	144,700	0.7
国民健康保険特別会計	10,198,000	10,335,000	▲ 137,000	▲ 1.3
後期高齢者医療特別会計	710,000	697,000	13,000	1.9
介護保険特別会計	6,160,000	6,084,000	76,000	1.2
介護サービス事業特別会計	27,000	25,000	2,000	8.0
公共下水道事業特別会計	2,753,000	2,515,000	238,000	9.5
農業集落排水事業特別会計	654,000	680,000	▲ 26,000	▲ 3.8
岩間駅東土地区画整理事業特別会計	45,320	66,620	▲ 21,300	▲ 32.0
企業会計	3,974,719	3,286,687	688,032	20.9
病院事業会計	1,463,497	751,582	711,915	94.7
収益的支出	722,000	696,000	26,000	3.7
資本的支出	741,497	55,582	685,915	1,234.1
水道事業会計	2,482,228	2,507,031	▲ 24,803	▲ 1.0
収益的支出	1,834,796	1,877,230	▲ 42,434	▲ 2.3
資本的支出	647,432	629,801	17,631	2.8
工業用水道事業会計	28,994	28,074	920	3.3
収益的支出	28,994	28,074	920	3.3
資本的支出	0	0	-	-
合 計	54,972,039	52,809,307	2,162,732	4.1

いな吉メモ① 『会計区分』

市町村では、お金の管理を『会計』で区分するんだよ。特定の事業をする時は、『特別会計』を設置して事務を行うんだ。また、特別会計の中でも独立採算性方式で会計をする場合は、『企業会計』を設置するんだよ。

- 一般会計・・・税を主な収入として、福祉、土木、教育、衛生などの基本的な施策を行う会計
- 特別会計・・・保険料や使用料などの特定収入により、特定の事業を行う会計
- 企業会計・・・特別会計のうち事業収益により、事業運営を行う会計



Ⅱ. 国の補正予算に伴う繰越事業

平成28年1月20日に、「一億総活躍社会の実現に向けて緊急に実施すべき対策等」、「TPP関連政策大綱実現に向けた施策」などを中心とした補正予算が国会で成立しました。

笠間市においては、平成27年度の予算に約3億7,000万円を計上し、繰越事業として平成28年度に実施します。

【地方創生加速化交付金を活用した事業】

地方創生加速化交付金は、一億総活躍社会の実現に向けた緊急対応として創設されました。笠間市においても、この交付金を活用した事業を実施します。

雇用対策事業

新規

大学や市内企業との連携により、就職説明会や市内企業紹介ツアーを開催し、首都圏学生の笠間市内企業への就職支援、市内企業の雇用支援を図ります。

1,279千円

笠間陶芸大学校学生等後継者育成支援事業

新規

平成28年4月に開校する県立笠間陶芸大学校の学生への家賃補助などの支援や、プロの陶芸家を目指す方の設備購入・研修支援により、笠間焼の担い手育成を図ります。

14,314千円

生涯活躍のまち構想推進事業 (笠間版CCRC)

拡充

アクティブシニアを中心とした首都圏からの移住促進、高齢化の中での新たなコミュニティの形成等について、笠間版CCRC構想実現に向けた調査検討を進めます。

16,440千円

広域観光推進事業

新規

笠間市・益子町が、「陶芸の里」として広域連携し、観光PRや周遊促進事業を実施することにより、更なる観光客の誘客を図ります。

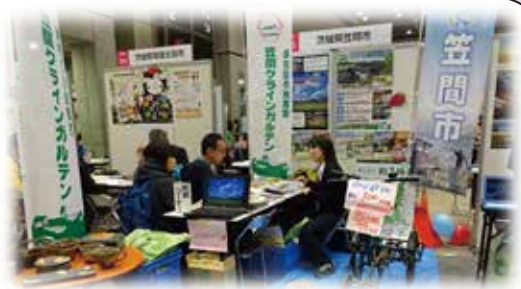
2,549千円

定住化促進事業

拡充

少子高齢化による人口減少の解消を目指し、本市への定住化を促進するため、首都圏を中心に笠間市のPRを行うとともに、移住体験を実施します。

5,366千円



笠間ファン倶楽部推進事業

笠間市のPR及び市内外の方々との交流促進を目的に、会員を対象とした体験イベント等の開催や、「笠間ファン倶楽部通信」を年4回発行するなど、笠間の情報を多くの方に発信します。

1,698千円



笠間・首都圏連携事業

新規

UJ1ターンと地場産業の成長を促進していくため、首都圏在住者とのつながりを強化する取り組みと、受け皿となる本市での雇用の質向上や活動の場づくりを一体的に進めます。

16,616千円



【TPP関連政策大綱実現に向けた事業】

平成28年2月に、環太平洋パートナーシップ（TPP）協定が、日本を含む12か国により署名されました。国で定めた「総合的なTPP関連政策大綱」には、経済再生・地方創生に直結させるために必要な政策の目標を掲げており、笠間市においても、大綱実現に向けた事業を実施します。

農業競争力強化基盤整備事業

生産効率を高め競争力のある「攻めの農業」を実現するために、担い手への農地集積や、農業水利施設等の整備を実施します。

16,250千円

霞ヶ浦用水事業

農業用水を安定的に供給する体制を確立するため、茨城県が事業を展開している霞ヶ浦用水事業（県営かんがい排水事業）に対し、負担金を支払います。

264千円

【その他国の補正予算に伴う繰越事業】

年金生活者等支援臨時福祉給付金事業 （低所得の高齢者向け給付金）

新規

平成27年度臨時福祉給付金支給対象者のうち、平成28年度中に65歳以上となる方に対して、1人につき3万円を支給します。

281,022千円

自治体情報セキュリティ強化 対策事業

新規

マイナンバー制度の施行に合わせて、地方自治体における情報セキュリティの強化を図ります。

45,858千円

いな吉メモ② 『事業の繰越し』

地方公共団体の予算は、「会計年度の独立の原則」があるから、その年度の事業は、その年度の収入で実施することが基本なんだ。

ただし例外として、市議会で『繰越し』が認められれば、翌年度に繰り越して使うことができるんだよ。

国の補正予算に伴う事業も、平成27年度の予算だけど、3月の市議会で『繰越し』が議決されてるから、平成28年度に実施できるんだ。

Ⅲ. 主な重要事務事業

笠間市では、重点的に取り組む事業を選定し、『重要事務事業』として位置づけています。今年度は、平成28年度当初予算に計上した事業と、平成27年度3月補正予算に『地方創生加速化交付金』を活用した事業として計上したもののうち、91事業を重要事務事業としています。

その中で、重点課題である「住む」質の向上につながる人・街・モノ（産業）づくり～「交流と連携」の重点化～「交流と連携による人が活躍する環境の構築」、 「交流する場と連携する仕組みの確立」、 「交流と連携の促進による産業の活性化」の3つの区分ごとに、主な重要事務事業を紹介します。

ひと【交流と連携による人が活躍する環境の構築】

教育を含めた少子化対策をはじめ、生涯をとおして活躍するための健康づくりといった、ライフステージ、ライフスタイルに応じた支援策を推進します。また、郷土に誇りをもつことができるよう笠間を知り、発信する取り組みの強化と笠間の暮らしを実感できる取り組みを推進します。

英語教育強化推進事業

英語教育の推進のため、英語指導助手の全小中学校配置や、夏季英語研修、英語検定受験料の一部助成を実施し、小中学生の英語教育環境の充実を図ります。

43, 149千円



学力向上支援事業

チームティーチングによる、児童生徒の実態に応じたきめ細かな指導を行い、学力向上を支援するため、全小中学校に授業支援講師を配置します。

47, 926千円

スクールソーシャルワーカー配置事業

新規

学校現場における児童生徒のいじめ、不登校、暴力行為といった問題行動等、多様な課題に対応するため、全小中学校にスクールソーシャルワーカーを派遣します。

6, 192千円

寺子屋事業

学力向上と学習意欲の高揚を図るため、土曜日に、市内の小学5・6年生を対象とした、学びの機会を提供します。また、夏休みは特別講座を実施します。

6, 568千円



地域おこし協力隊事業

拡充

定住化対策の一環として、「地域おこし協力隊」制度を活用し、都市圏から本市への移住希望者を受入れ、協力隊員による地域活性化事業を実施します。

16,091千円



産前・産後ケア事業

拡充

妊娠期から子育て期の様々なニーズに対応するため、子育て世代包括支援センター「みらい」を運営します。本年度より助産師を配置し、産前・産後のケアを充実させます。

4,856千円

地域子育て支援センター事業

拡充

子育て家庭の親子が、気軽に集い、うち解けた雰囲気の中で交流が図れるよう「地域子育て支援センター」を運営します。

7,309千円

かさまこども園運営事業

新規

平成28年4月より、笠間幼稚園とてらぎ保育所を一体化した「かさまこども園」を運営します。

78,870千円



かさまこども園

特定不妊治療費補助事業

少子化対策の一環として、不妊治療を受けている夫婦に治療費を助成します。今年度も引き続き、男性の不妊治療に対して上乗せの補助を実施します。

5,750千円

生活困窮者自立支援事業

生活困窮者の自立を支援するため、相談支援員や就労支援員等による情報提供、助言を行います。また、離職等により住宅を失った生活困窮者に対し、家賃相当の給付金を支給します。

19,248千円

出会い創出支援事業（地域少子化対策）

隣接する城里町や栃木県益子町、茂木町との広域連携により、男女の出会いを創出するため、婚活セミナーや出会いイベントの開催、婚活サポーターの養成・研修講座などを実施します。

1,896千円



【交流と連携による人が活躍する環境の構築】

広報推進事業**拡充**

笠間市の魅力を市内外に広く伝えるため、広報紙発行や市内の観光、地場産業などを紹介する動画を作成・配信します。本年度は、外国人向け動画も作成し、新たな集客を図ります。

16,829千円**まち【交流する場と連携する仕組みの確立】**

既存ストックの活用を最大限に図りながら、市内外の双方において、交流や活動を活性化する拠点の形成と人口減少、高齢化社会に対応したコミュニティづくりといった場の構築を推進します。

笠間稲荷周辺まちづくり整備事業**拡充**

観光拠点である笠間稲荷門前通りの賑わいを創出するため、旧井筒屋本館の再生整備及び周辺整備を行います。本年度は、旧井筒屋本館の耐震補強・改修工事、道路景観整備等を行います。

216,639千円**旧井筒屋本館****認定こども園建設事業
(稲田地区)****新規**

平成29年4月開園に向け、稲田幼稚園といなだ保育所を一体化した「稲田地区幼保連携型認定こども園」の建設工事を実施します。

669,124千円**完成予想図****農地集積協力事業****拡充**

農地中間管理機構を通じ、農業をやめる方や経営規模を縮小したい方から農地を借り、地域の担い手につなぐことで、農地の集積・集約化を図ります。

7,320千円**空家対策推進事業****加速化
交付金****拡充**

空家の利活用及び住環境の保全を図るため、空家等対策計画の策定や空家情報のデータベース化を行います。

10,285千円**加速化交付金分 9,351千円**

笠間城跡保存整備調査事業

拡充

笠間城跡周辺について、地形図作成のための航空レーザー測量や天守曲輪中段石垣の測量調査、本丸跡の確認調査を実施します。また、市内の歴史・文化財・史跡を題材とした歴史フォーラムを開催します。

22,249千円



笠間城跡

デマンドタクシーかさま運行事業

拡充

交通弱者の日常生活支援や、外出促進などによる地域の活性化を目的として、デマンドタクシーを運行します。また、本年度より、土曜日の本格運行を実施します。

64,956千円



笠間市地域交流センターともべ建設・運営事業

拡充

平成28年12月開館に向け、「地域交流センターともべ」の建設工事を実施し、指定管理制度を活用して、運営を開始します。

503,712千円



完成予想図

笠間市地域交流センターいわま建設事業

新規

平成29年9月開館に向け、「地域交流センターいわま」の建設工事を実施します。

209,236千円



完成予想図

遊休農地活用緊急対策事業

年々増加している耕作放棄地を解消するため、農地として活用する取り組みを行う方に対し、助成を行います。

4,892千円

県央地域定住自立圏構想推進事業

新規

水戸市を中心とした圏域の市町村が、お互いに役割を分担しながら、定住に必要な医療や福祉、交通などの生活機能の確保・充実を図り、連携・協力をして圏域の活性化に取り組みます。

— 千円

【交流する場と連携する仕組みの確立】

【交流と連携の促進による産業の活性化】

国内外の双方を意識した情報発信力の強化や販路拡大を進めます。また、本市の地域資源や環境を生かした産業の支援策、地域づくりにもつながる小規模事業所、店舗等の活動支援策を推進します。

地場農産物振興拡大事業
 (6次産業化・アグリビジネス・地産地消)

市内で生産される農産物、加工品のブランド化や、地産地消に取り組むことにより、農産物の知名度向上及び地域農業の競争力強化を図ります。

8,534千円

地場産業物振興拡大事業(笠間焼振興)

笠間焼の普及拡大を図るため、笠間の陶炎祭等でのPR活動、事業者を対象とした新商品開発、展示等の商談活動を支援します。

4,356千円

担い手対策強化促進事業

拡充

新規就農者や認定農業者への、長期研修や機械及び施設更新整備の支援などにより、地域農業の担い手育成・定着を推進します。

8,983千円

**筑波山地域ジオパーク
推進事業**
加速化
交付金

拡充

筑波山周辺地域の活性化を図るため、県内6市(笠間市、つくば市、土浦市、石岡市、桜川市、かすみがうら市)で連携し、ジオパーク構想を推進します。

2,423千円

加速化交付金分 5,000千円

【重点課題以外の重要事務事業】

**県道水戸岩間線歩行者空間
整備事業**

拡充

岩間駅西側の主要道路である「県道水戸岩間線」を整備し、歩行者の安全確保及び景観形成を図ります。

73,001千円

児童クラブ整備事業

拡充

放課後児童クラブの待機児童に対応するため、笠間小学校と北川根小学校児童クラブの建設工事、友部第二小学校児童クラブの実施設計を行います。

242,674千円

友部駅周辺道路整備事業

市道(友)1175号線・1195号線(南友部)の拡幅や市道(友)1級6号線(美原)の浸水対策工事を行います。

96,817千円

**いばらき消防救急無線・指令
センター運営事業**

新規

平成28年6月より「いばらき消防指令センター」が稼働し、広域かつ迅速な対応や大規模災害に強い体制の構築のため、県内34市町共同で運用を行います。

23,731千円

まちなか犯罪抑止事業

拡充

市民の方々が安心・安全に暮らせるよう、まちなかでの犯罪抑止を目的として、防犯カメラを設置します。

3,829千円

一般廃棄物処理基本計画策定事業

新規

市内の一般廃棄物（ごみ・し尿）の適正な処理を確保し、今後の処理体制等の基本方針を定める「一般廃棄物処理基本計画」を策定します。

6,862千円

小学校校舎エアコン設置事業

新規

学校環境の向上を図るため、市内全小学校にエアコンを設置します。本年度は平成29年度設置に向け、実施設計を行います。

16,568千円

茨城国体推進事業

拡充

平成31年開催の茨城国体に向け、準備実行委員会を組織・運営し、笠間市で行う軟式野球、ゴルフ、クレ射撃、合気道の成功に向けた準備を行政と市民が一体となって行います。

1,775千円

笠間公民館リニューアル事業

拡充

昭和57年の建築後、約34年が経過する笠間公民館施設の改修工事を実施します。

312,847千円

笠間公民館



全国こども陶芸展推進事業

21世紀を担う子ども達に、本市の重要な産業である陶芸を通して、創意工夫・自由な創造力を発揮できる場を提供することを目的として、全国こども陶芸展を開催します。

6,370千円



第2次総合計画策定事業

笠間市が今後どのような都市を目指していくのか、平成29年度から10年間のまちづくりビジョンを示すため、「第2次総合計画」を策定します。

15,351千円

各種証明書コンビニ交付事業

新規

市民の利便性向上を図るため、マイナンバーカードを活用した、全国のコンビニエンスストアにおける、住民票の写し等各種証明書の交付サービスを開始します。

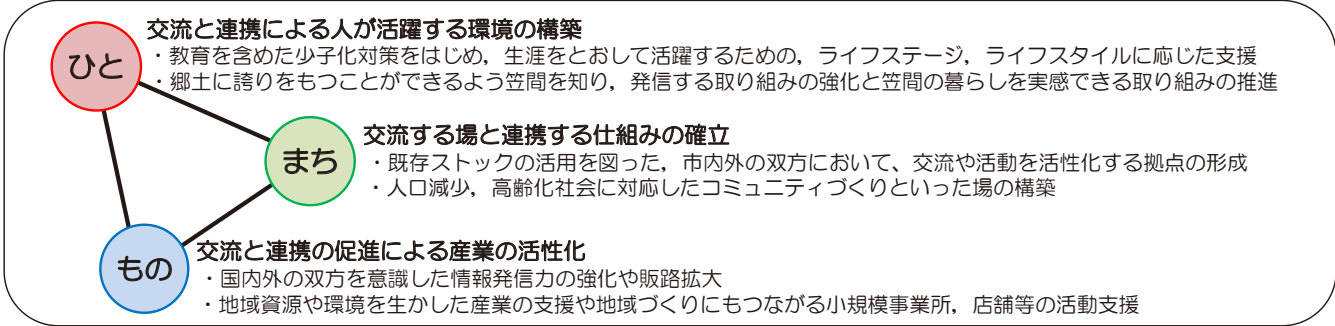
7,808千円

【重点課題以外の重要事務事業】

IV. 平成28年度重要事務事業

笠間市のめざす将来像
住みよいまち 訪れてよいまち 笠間
～みんなで創る文化交流都市～

《平成28年度重点課題》「住む」質の向上につながる人・街・モノ（産業）づくり～「交流と連携」の重点化～



政策	施策	事業名	重点課題	事業費	新規・拡充	
第1章 土地利用・都市基盤	拠点づくりと市街地整備	生涯活躍のまち（笠間版CCRC）構想推進事業 【jobサポートプロジェクト】	まち	※ 16,440 千円	新規	
		笠間稲荷周辺まちづくり整備事業（道路景観整備・旧井筒屋本館改修と周辺散策路整備）	まち	216,639 千円	拡充	
		県道水戸岩間線歩行者空間整備事業		73,001 千円	拡充	
		岩間地区まちづくり検討事業（岩間市街地北部）		6,689 千円		
第2章 産業	幹線道路	幹線道路整備事業 （来栖本戸線・南友部平町線・笠間小原線・市道（友）2級5号線〔随分附〕）		403,118 千円	拡充	
		都市計画道路再検討事業（整備未着手路線の見直し）		— 千円		
		デマンドタクシーかさま運行事業（土曜運行含む）	まち	64,956 千円	拡充	
		観光	筑波山地域ジオパーク推進事業	もの	2,423 千円	拡充
地域おこし協力隊事業	ひと		16,091 千円	拡充		
外国人旅行者受入事業（多言語案内板設置）	もの		3,097 千円	拡充		
菊まつり事業・つつじまつり事業	もの		15,670 千円			
第3章 健康・福祉	地場産業	地場産業支援事業（笠間焼振興）	もの	4,356 千円		
		笠間陶芸大学校学生等後継者育成支援事業 【jobサポートプロジェクト】 （創業や創作活動支援）	もの	※ 14,314 千円	新規	
		農林業	地場農産物振興拡大事業（6次産業化・アグリビジネス・地産地消）	もの	8,534 千円	
			担い手対策強化促進事業 【jobサポートプロジェクト】 （認定農業者・青年就農者支援）	もの	8,983 千円	拡充
農地集積協力事業（農地貸付支援）	まち		7,320 千円	拡充		
多面的機能支払交付金事業（農業地域活動組織支援）			81,320 千円			
第4章 雇用・労働環境	商業	森林機能緊急回復整備事業（間伐・林道や作業道の開設）		30,300 千円		
		遊休農地活用緊急対策事業（耕作放棄地解消支援・農地バンク制度）	まち	4,892 千円		
		商店街活性化事業（商工会補助・市内周遊アートのまちめぐり事業）	もの	3,689 千円		
		工業	企業誘致推進事業（新規企業立地促進支援・既存企業拡張支援）	もの	1,722 千円	
第5章 健康・福祉	子ども・子育て支援	雇用対策事業 【jobサポートプロジェクト】 （就職支援セミナー・市内企業紹介ツアーの開催）	もの	※ 1,279 千円	拡充	
		少子化対策	雇用対策事業 【jobサポートプロジェクト】 （就職支援セミナー・市内企業紹介ツアーの開催）	もの	※ 1,279 千円	拡充
			地域子育て支援センター事業（「みつばち」「くりのこ」「かんがるー」の運営）	ひと	7,309 千円	拡充
			児童クラブ整備事業 （笠間小学校児童クラブ建設・北川根小学校児童クラブ建設・友部第二小学校児童クラブ実施設計）		242,674 千円	拡充
			母子父子支援事業（母子父子家庭自立支援相談）	ひと	2,078 千円	
			認定こども園建設事業（稲田地区）	まち	669,124 千円	新規
			かさまこども園運営事業（4月開園）	ひと	78,870 千円	新規
		保健・医療	産前・産後ケア事業（子育て世代包括支援センター「みらい」の運営）	ひと	4,856 千円	拡充
			母子保健事業（母子手帳交付・母子健診・相談・家庭訪問・親子教室）	ひと	58,996 千円	
			医療福祉費支給事業（中学校3年生まで小児マル福の拡大）			
			医療福祉費自己負担金助成事業（外来・入院時）	ひと	195,243 千円	
			特定不妊治療費補助事業（男性不妊治療含む）	ひと	5,750 千円	
出会い創出支援事業（地域少子化対策） （1市3町広域連携ウェブサイト運営・男女マナーアップセミナー・婚活サポーター養成・研修講座）	ひと		1,896 千円			
第6章 健康・福祉	保健・医療	食育の推進と生活習慣病予防事業（親子料理教室・ヘルスリーダーの育成）	ひと	1,563 千円		
		健康都市の普及・啓発事業（健康講座・講演会）	ひと	219 千円		
		健康増進事業 （健康相談・糖尿病予防教室・スリムアップ教室・女子力アップ教室・健康体操等）	ひと	1,442 千円		
		各種検診推進事業（生活習慣病予防検診・がん検診等）	ひと	67,984 千円		

IV 平成28年度重要事務事業

政策	施策	事業名	重点課題	事業費	新規・拡充
第3章 健康・福祉	保健・医療	がん検診推進事業（受診勧奨・無料クーポン券）	ひと	6,248 千円	
		（仮称）地域医療センターかさま整備事業	まち	734,000 千円	新規 拡充
		筑波大学病院連携事業（指導医・後期研修医及び学生受入）		27,500 千円	
		平日夜間・日曜初期救急診療事業（市立病院実施）	ひと	17,726 千円	
	社会保障	医療福祉費支給事業	ひと	328,641 千円	
		医療福祉費自己負担金助成事業（外来・入院時）			
		国民健康保険健診事業（特定健診・人間ドック・脳ドック）	ひと	77,743 千円	
	地域福祉	後期高齢者健診事業（高齢者健診・人間ドック・脳ドック）	ひと	16,378 千円	
		生活困窮者自立支援事業（自立相談支援・住居確保給付金支給）	ひと	19,248 千円	
	高齢者福祉	生活保護適正化事業（相談員による重点的就労支援・レセプト点検審査）	ひと	4,236 千円	
高齢者見守りあんしんシステム事業			8,709 千円		
障害者福祉	在宅医療・介護連携推進事業（多職種連携による地域包括ケアネットワーク会議）	ひと	2,056 千円		
	認知症地域支援推進事業（認知症地域支援推進員を中心とした相談体制の整備）	ひと	569 千円		
	障害者地域生活支援事業（日常生活用具給付・移動支援・親子通園）	ひと	61,976 千円		
第4章 生活環境	生活道路	友部駅周辺道路整備事業（市道（友）1175号線・市道（友）1195号線等）		96,817 千円	
		狭あい道路整備促進事業（市道（友）3206号線・市道（岩）西277号線）		52,073 千円	拡充
		橋梁長寿命化修繕事業（定期点検・修繕計画の見直し）		63,960 千円	拡充
		道路維持事業（補修工事等）		153,520 千円	
	公園・緑地	公園施設長寿命化事業		30,000 千円	
	上水道	水道施設等整備事業（石綿管更新・鉛製給水管解消・漏水修繕等）		164,175 千円	
	生活排水	下水道施設長寿命化計画推進事業		438,900 千円	拡充
		地方公営企業法適用準備事業（下水道の公営企業化）		20,420 千円	拡充
	住宅	公共下水道・農業集落排水・合併浄化槽整備事業		837,490 千円	
		市営住宅長寿命化事業		30,599 千円	
		定住化促進事業（移住体験及び移住促進PRの実施）	ひと	※ 5,366 千円	拡充
	消防	空家対策推進事業 （空家バンク・空家活用支援助成・空家対策協議会の設置・空家解体補助）	まち	※ 9,351 千円	拡充
		民間救急ボランティア育成・啓発事業	ひと	162 千円	
防犯	いばらき消防救急無線・指令センター運営事業		23,731 千円	新規	
	まちなか犯罪抑止事業（防犯カメラの設置）		3,829 千円	拡充	
廃棄物対策	一般廃棄物処理基本計画策定事業		6,862 千円	新規	
第5章 教育・文化	学校教育	英語教育強化推進事業（幼小中高連携による一体的な英語教育の推進）	ひと	43,149 千円	
		学力向上支援事業（非常勤講師の配置・チームティーチング授業）	ひと	47,926 千円	
		寺子屋事業（土曜学習教室・夏季特別講座）	ひと	6,568 千円	
		スクールソーシャルワーカー配置事業（専門的知識や技術所有者を小中学校へ派遣）	ひと	6,192 千円	新規
		学校生活学習支援事業（生活困窮者世帯等）		1,400 千円	新規
		小中学校施設環境改善事業 （笠間中学校武道場建設工事・岩間第一小学校校舎改修工事）		278,814 千円 ※ 191,636 千円	拡充
	生涯学習	小学校校舎エアコン設置事業（実施設計）		16,568 千円	新規
		笠間公民館リニューアル事業（改修工事）		312,847 千円	拡充
	スポーツ・レクリエーション	スポーツ振興事業（オリンピックや国体等を見据えたスポーツ振興計画の見直し）		1,272 千円	
		茨城国体推進事業（平成31年開催に向けた準備・周知・PR）		1,775 千円	拡充
かさま陶芸の里ハーフマラソン大会事業			7,820 千円		
文化財	県下中学校交歓笠間市駅伝大会事業		1,568 千円		
	笠間城跡保存整備調査事業	まち	22,249 千円	拡充	
芸術・文化	全国子ども陶芸展推進事業		6,370 千円		
第6章 自治・協働	男女共同参画社会	女性の活躍応援事業【Jobサポートプロジェクト】 （有資格者復職支援研修・ワークライフバランス講演会）	ひと	447 千円	拡充
	市民協働	笠間市地域交流センターともべ建設・運営事業	まち	503,712 千円	拡充
		笠間市地域交流センターいわま建設事業	まち	209,236 千円	新規
	地域コミュニティ	地域コミュニティ創生モデル事業（行政区等活動費助成）	ひと	2,400 千円	
	広報・広聴	広報推進事業（広報かさま・ホームページ・メディアへのPR）	ひと	16,829 千円	拡充
		笠間・首都圏連携事業（人の流れづくり）【Jobサポートプロジェクト】	まち	※ 16,616 千円	新規
	行政運営	第二次総合計画策定事業		15,351 千円	
		第三次行政改革大綱策定事業		188 千円	
		各種証明書コンビニ交付事業（住民票・印鑑証明書・課税証明書・所得証明書の交付）		7,808 千円	新規
財政運営	収納対策事務（催告・財産調査・滞納処分・インターネット公売）		23,264 千円		
	ふるさとづくり寄附金制度推進事業（ふるさと納税）	ひと	19,090 千円		
広域行政	県央地域定住自立圏構想推進事業（9市町村による連携）	まち	— 千円	新規	

※印については、国の加速化交付金及び学校施設環境改善交付金に関わるもので、H27年度3月補正に計上後、H28年度予算に繰り越して実施するものです。

V. 各会計の予算額

～平成28年度予算について～

一般会計

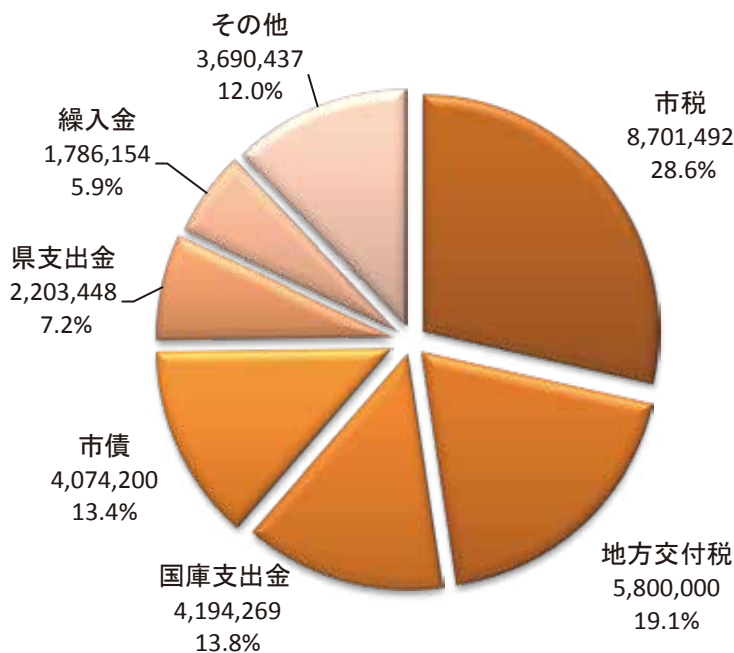
特別会計や企業会計に属さない財政を包括的、一般的に経理する会計です。市民税等を財源として、福祉、土木、教育、衛生など多岐にわたる事業を行います。

平成28年度予算は304億5,000万円
前年度比13億3,000万円増で過去最高額

○歳入予算

歳入とは、いわゆる『収入』のことです。1年間に見込まれる収入が計上されています。笠間市においては、「市税」が約87億円で最も多い割合を占めています。地方交付税は58億円、国・県支出金は約64億円を見込んでいます。

《 歳入予算内訳（千円） 》



市 税	市民税・固定資産税などの税金です。
地方交付税	国で一括徴収した税金を市町村に分配するものです。
国庫支出金	国からの補助金・負担金などです。特定の事業に使います。
市 債	事業を進めるために国や金融機関から借り入れるお金です。
県 支 出 金	県からの補助金・負担金などです。特定の事業に使います。
繰 入 金	主に基金の取り崩し金です。目的に沿って使います。
そ の 他	各種使用料や前年度からの繰越金などです。

いな吉メモ③ 『予算って、そもそも何??』

予算は、1年間（4月から翌年の3月まで）の収入と支出の計画を作ることなんだ。どれくらいの収入が入ってきて、どのくらいの行政サービスができるかを計算した計画書みたいなものだよ。

やりたいことを、どんどんやっていって、『気が付いたらお金が無い』なんてことにならないように、必要なものなんだ。

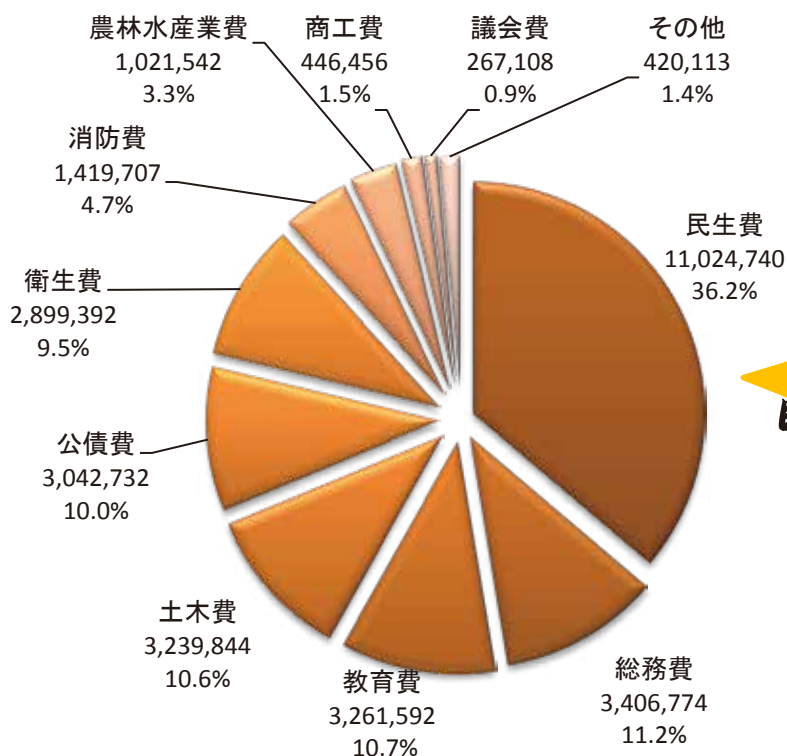
だから、歳出の予算額以上のお金は使えないようになってるんだよ。

○歳出予算

歳出とは、いわゆる『支出』のことです。1年間に見込まれる支出が計上されています。予算書には、それらがどのような目的に使われるかという『目的別』に区分され、記載されています。これにより、どのような目的にどのくらい事業費がかかる見込みなのかがわかります。

今年度も「民生費」が最も多い割合を占めています。

《 歳出予算内訳【目的別】（千円） 》



どんな行政サービスに、どのくらい事業費を見込んでいるのかがわかるよ。笠間市は福祉のための事業費（民生費）が1番多いんだ。今年度は、稲田地区の認定こども園の整備などを実施するよ。

目的別



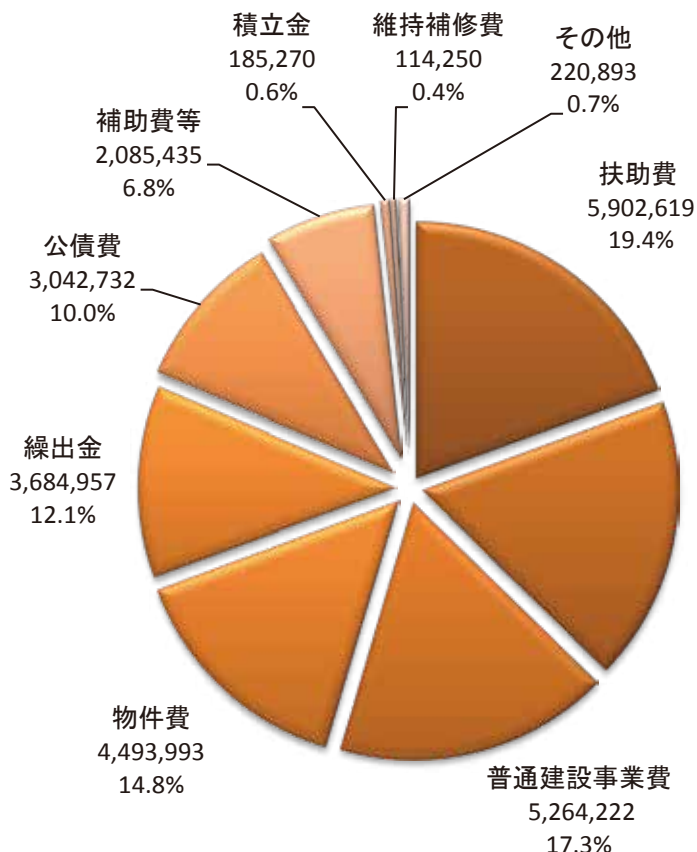
民生費	社会福祉，児童福祉，高齢福祉などの事業費です。
総務費	庁舎の維持管理，広報紙発行，選挙などの事業費です。
教育費	学校・図書館などの運営費，スポーツ大会などの開催事業費です。
土木費	道路・公園などの整備・管理などの事業費です。
公債費	借入金を返済する事業費です。
衛生費	各種健診・予防接種，ごみ収集などの事業費です。
消防費	火災や台風などの防災活動事業費です。
農林水産業費	農業や林業の振興のための事業費です。
商工費	商工業の振興や観光事業を推進するための事業費です。
議会費	議員報酬や議会の運営に関する事業費です。
その他	病院・水道事業への支出金，不測の事態に備えた予備費等です。

いな吉メモ④ 『予算って、誰が決めているの??』

予算は、市長が案を作って市議会に提出するんだ。そこで色々な審議・議論がされて、決定されるんだよ。

ここでは、歳出予算を性質にしたがって区分しています。生活支援や道路整備などの事業を実施するために、どのような性質の費用がかかる見込みなのかがわかります。今年度は、「扶助費」が最も多い割合を占めています。

《 歳出予算内訳【性質別】（千円） 》



どんな費用を、いくら見込んでいるのかわかるよ。笠間市は福祉などの支援のための経費（扶助費）が1番多いんだ。今年度は、障害者自立支援給付費や民間認定こども園への負担金が増えているよ。



扶助費	児童・高齢者・障害者・生活困窮者などへの支援のための費用です。
人件費	議員や特別職員，一般職員の給料などや各委員等の報酬です。
普通建設事業費	建設工事にかかる費用です。
物件費	委託や備品の購入，消耗品にかかる費用などです。
繰出金	他の会計に支出するお金のうち補助費等以外のものです。
公債費	借入金の返済にかかる費用です。
補助費等	他の会計や，個人・団体へ支払う補助金や負担金などです。
積立金	基金などに積み立てるお金です。
維持補修費	施設等の維持管理に必要な補修費です。
その他	出資金や貸付金，予備費などです。

いな吉メモ⑤ 『一度決めた予算は変えないの??』

当初予算で見込んでいない事があった時，例えば災害が起って予定外の経費がかかる場合は，それに対応した予算に変更するんだ。これを『補正予算』というんだよ。これも当初予算と同じように，市長が案を作って，市議会で決まるんだ。前のページで話に出た，国の補正予算に伴う事業にかかる経費も，この補正予算で変更したんだよ。

市の予算を 家計簿に たとえると

市の予算は『億』単位と大きいため、実感がわきづら
いかと思います。そこで、少しでもわかりやすくするた
めに、市の予算（一般会計分）を『年収500万円の家
庭』にたとえてみました。

市の予算と家計とでは、単純に比較できない面もあ
りますが、1つの目安としてご覧ください。

収入

給料（基本給） <small>市税</small>	143万円
諸手当・ボーナス <small>譲与税，交付金，交付税</small>	128万円
パート収入 <small>使用料，負担金など</small>	28万円
親からの援助 <small>国庫支出金，県支出金</small>	105万円
銀行からの借入れ <small>市債</small>	67万円
定期預金の取り崩し <small>繰入金</small>	29万円
合 計	500万円



笠間市の義務的
経費は全体の約
47%を占めて
るんだね。

その他

預 貯 金 <small>基金残高</small>	265万円
------------------------------	-------

支出

食 費 <small>人件費</small>	90万円	義務的経費
家族の医療費や 保険料など <small>扶助費</small>	97万円	
ローンの返済 <small>公債費</small>	50万円	
電気料，ガス料， 水道料，電話料など <small>物件費</small>	74万円	
自宅の増改築や 家財道具購入など <small>普通建設事業費費，維持補修費</small>	88万円	
授 業 料 等 自治会費など <small>補助費等</small>	34万円	
預貯金の積み立て <small>積立金など</small>	7万円	
子どもへの仕送り <small>繰出金</small>	60万円	
合 計	500万円	

借 金 <small>市債残高</small>	499万円
----------------------------	-------

国民健康保険特別会計

病気やけがをした時に安心して治療を受けられるように、加入者がお互いに助け合う『国民健康保険』制度を運営するための会計です。

職場の健康保険に加入していない方などが世帯ごとに加入します。



平成28年度予算は101億9,800万円
前年度比1億3,700万円減

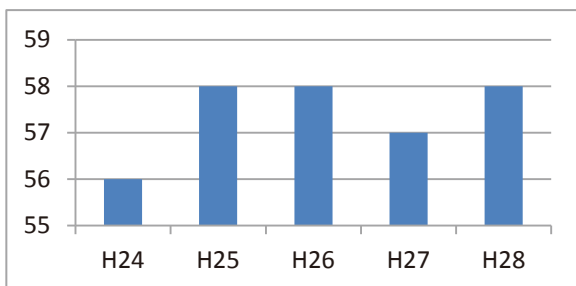
今年度は、加入者の減少等の理由により、国保税の収入や後期高齢者支援金の支出が減っていますが、1人当たりの医療費が伸びているため、保険給付費は増えています。



被保険者は約23,000人を見込んでいて、そのうち約3分の1が前期高齢者（65歳～74歳）になってるよ。市の保険給付費は1人当たり約25万円だよ。

【保険給付費の推移】

(単位：億円)



○主な事業

国民健康保険健診事業

国保加入者の生活習慣病を予防するために、健康診査、健康指導を行います。また、健康の保持増進を図る脳ドック・人間ドック検診費用の助成を行います。

77,743千円

後期高齢者医療特別会計

後期高齢者（75歳以上）が安心して治療を受けられるように、後期高齢者と若年者とで支える『後期高齢者医療』制度を運営するための会計です。



平成28年度予算は7億1,000万円
前年度比1,300万円増

今年度は、保険給付を行っている後期高齢者医療広域連合への納付金を微増で見込んでいます。

また、前年同様に、人間ドック・脳ドックの検診費に対する助成を実施します。

介護保険特別会計

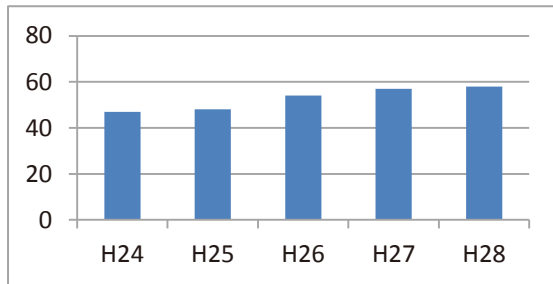
介護が必要な方を社会全体で支えあう「介護保険」制度を運営するための会計です。
 現在、40歳以上の方が加入者となり、要介護者や要支援者等を支えています。



平成28年度予算は61億6,000万円
 前年度比7,600万円増

今年度は、サービス利用者の増により給付費が増えています。
 また、地域における医療介護の連携と市内に居住する認知症の人及びその家族に対する支援体制の強化を図り、自立生活のサポートを行う「認知症初期集中支援チーム」を構築します。

【保険給付費の推移】 (単位：億円)



介護保険のサービスを利用するには、まず要介護（要支援）認定の申請が必要なんだ。
 今年度の見込みは約3,700人で、去年より約200人増えてるよ。
 1人当たりの給付費は約157万円なんだ。

○主な事業（保険給付費以外）

高齢者見守りあんしんシステム事業

高齢者の方が安心・安全に暮らせるように、緊急時通報装置を設置し、緊急を含む家庭内の事故等の通報に24時間365日対応します。

8,709千円

認知症地域支援推進事業

認知症の方やその家族に対する支援として、地域の方々も参加できる「認知症カフェ」の実施や、身近な場所での相談支援を行います。

569千円

介護サービス事業特別会計

介護予防サービス計画書（ケアプラン）を作成し、介護予防対策の強化を図るための会計です。
 計画作成費を主な収入として運営しています。



平成28年度予算は2,700万円
 前年度比200万円増

今年度は、計画書作成件数を5,880件で見込んでいます。

公共下水道事業特別会計

浄化センターともべ

台所やトイレなどから流した生活排水をきれいにする公共下水道事業を運営するための会計です。

下水道使用料などを財源に、施設の運営管理や下水道の整備、老朽化した施設の修繕や機器等の更新を行います。

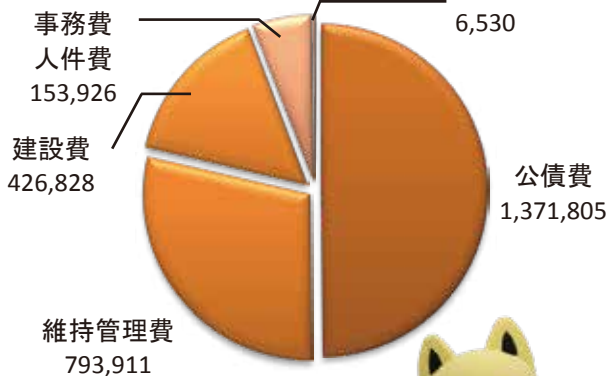
市街地を中心とした区域の下水道施設の整備・管理をしています。



平成28年度予算は27億5,300万円
前年度比2億3,800万円増

今年度より、下市毛ポンプ場の下水道長寿命化実施設計を行い、機械設備・電気設備の改修を2ヵ年で行います。
また、前年度に引き続き浄化センターともべの監視装置改修工事を行います。

○歳出内訳（千円）



○主な事業

下水道施設長寿命化計画
推進事業

拡充

長寿命化計画に基づいた、施設の修繕・機器更新を行います。今年度は下市毛ポンプ場、浄化センターともべの長寿命化計画を推進します。

438,900千円

維持管理費
793,911

公共下水道の利用者は約27,100人だよ。面積でいうと、約1,350万㎡以上の区域で使用されてるんだ。



農業集落排水事業特別会計

台所やトイレなどで流した生活排水をきれいにする農業集落排水事業を運営するための会計です。

公共下水道と同じく、使用料などを財源に施設の運営管理や下水道の整備などを行います。

農村地帯の数集落を1単位として、下水道施設の整備・管理をしています。



平成28年度予算は6億5,400万円
前年度比2,600万円減

今年度は、管路の整備費が約2,200万円減額したこと等により全体予算は減額となっています。また、小原地区を中心とする友部北部地区においてⅡ期地区の管路施設工事を行います。

岩間駅東土地区画整理事業 特別会計

岩間駅東地区の宅地利用増進を図る、区画整理事業を運営するための会計です。

今年度は、1区画の保留地の販売を進めます。



平成28年度予算は約4,500万円
前年度比約2,100万円減

区画整理のための整備事業は終了しており、今年度は、整備した保留地の販売と、過年度に借り入れた資金の償還が主な事業となっています。

好評販売中です！

○販売区画の概要

今回販売しているのは、商業施設や住宅に適した土地となっています。

用途地域	近隣商業地域 (建ぺい率：80%、容積率：200%)
地目	宅地
建築条件	なし
別途費用	水道加入金、下水道受益者負担金
販売方法	先着順にて随時受付

画地番号	地番	地積	単価	販売価格
①	下郷7004-1	1,339.17㎡	30,467円/㎡	4,080万円



*お問い合わせ・申込受付は 都市計画課 0296-77-1101 (内線586・587)

市立病院事業会計

笠間市における保健施設の中核として公衆衛生の向上及び増進に寄与し、地域医療を確保するために設置された市立病院を運営するための会計です。

外来診療収益等によって医療サービス費用をまかなう『収益的収支』と、出資金などによって建設費用をまかなう『資本的収支』に分けて会計処理をしています。



平成28年度予算は約14億6,300万円
前年度比約7億1,200万円増

今年度は、平成30年4月開院予定の「(仮称)地域医療センターかさま」建設改良費計上により、全体額が増となっています。

また、前年度に引き続き『かさま地域医療教育ステーション』として、筑波大学付属病院から指導医を2名、本年度より、後期研修医を1名受け入れます。

○平成28年度業務予定量

病床数		30床
年間患者数	入院	8,760人
	外来	28,175人
一日平均患者数	入院	24人
	外来	115人

○主な事業

(仮称)地域医療センターかさま 整備事業

新規

平成30年4月オープンを目指し、建設工事を行います。

○事業期間…平成28年度～平成29年度

○総事業費…1,835,000千円

734,000千円

かさま地域医療教育ステーション事業

在宅医療を軸とした、生活を支える医療を実現するため、筑波大学付属病院から指導医・後期研修医及び医学生を受け入れ、地域医療に従事する医師を養成します。

27,500千円



新病院には、
①保健センター機能
②地域包括支援センター機能
③病児支援機能
の3つの機能を併設予定だよ♪

(仮称)地域医療センターかさまイメージ図



○外来診療のご案内

診療時間		診療科目	
午前	8:30～11:00	総合診療科	月曜日～金曜日 午前・午後
午後	13:00～16:00		
夜間 (初期救急)	19:00～21:00	皮膚科	火曜日：午前・午後 木曜日：午前中のみ

* 祝日、年末年始は休診となります。

* 日曜日は初期救急診療のみとなり、
診療時間は 9:00～17:00になります。

*お問い合わせ 笠間市立病院 0296-77-0034

水道事業会計

安心安全な水道水を家庭に供給する水道事業を運営するための会計です。

水道料金によって水の供給にかかる費用をまかなう『収益的収支』と、出資金などによって建設費用をまかなう『資本的収支』に分けて会計処理をしています。



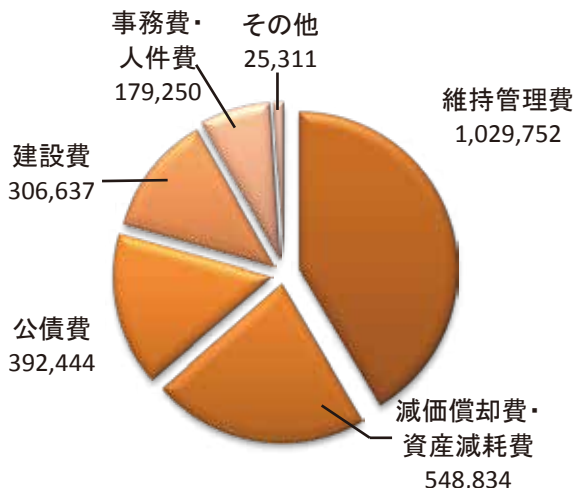
平成28年度支出予算は約24億8,200万円
前年度比約2,500万円減

今年度は維持管理費や人件費削減等の効率化により、減額となります。
また、前年に引き続き、石綿管の解消工事等を推進します。

○平成28年度業務予定量

給水件数	24,885 件	
年間総給水量	6,597,742 m ³	
一日平均給水量	18,076 m ³	
建設改良事業	事務費	8,763 千円
	施設改良費	306,637 千円

○歳出内訳（千円）



年間給水量は、約660万m³。
東京ドーム約5.3個分もあるんだよ。



○主な事業

水道施設等整備事業

老朽管を耐震性に優れた水道管へ布設替えをする工事や、取水井施設の更新工事などを実施します。

164,175千円

工業用水道事業会計

岩間工業団地へ工業用水を供給する工業用水道事業を運営するための会計です。

上水道と同じように、『収益的収支』と、『資本的収支』に分けて会計処理をしています。



平成28年度支出予算は約2,900万円
前年度比約100万円増

今年度は、人件費が増額となったこと等により、増となります。
また、前年同様、建設費用等の資本的支出がありません。

○平成28年度業務予定量

給水件数	4 件
年間総給水量	147,564 m ³
一日平均給水量	404 m ³

Ⅵ. 基金の状況

平成28年度末現在高は約152億5,300万円
対前年度比約15億3,400万円減

基金とは家計で例えると貯金のようなものです。定めた目的のために、取り崩して（繰り入れて）使用することができます。

今年度は、一般会計の基金繰入金が約5,600万円の増となっています。特定目的基金である、企業立地促進基金の繰入金が約1億円の減、まちづくり振興基金の繰入金が約6,900万円の減となっている一方で、財政調整基金繰入金が約1億2,000万円の増、ふるさと創生基金が約5,600万円の増、市債の償還に活用する減債基金が約4,200万円の増となっていることが主な要因となっています。

また、積立額は約2,400万円の減となっています。福田地区地域振興整備基金の積立金が約1,900万円の減となっていることが主な要因となっています。

○基金状況一覧

(単位：百万円)

会計区分	平成27年度末 現在高見込額	平成28年度		平成28年度末 現在高見込額
		繰入予定額	積立予定額	
一般会計	16,158	1,764	186	14,580
財政調整基金	7,030	950	10	6,090
減債基金	1,995	42	1	1,954
特定目的基金	5,652	772	174	5,054
土地開発基金	1,481	0	1	1,482
特別会計	629	13	57	673
国民健康保険 財政調整基金	2	0	0	2
介護給付費準備基金	405	1	57	461
公共下水道事業基金	188	0	0	188
農業集落排水事業 市債償還基金	34	12	0	22
合 計	16,787	1,777	243	15,253

財政調整基金	年度間の財源の不均衡を調整するために積み立てる基金
減債基金	地方債の償還を年度を越えて計画的に行うために設けられた基金
特定目的基金	各種事業などの特定の目的のために設置された基金（目的ごとに別々に設置）
土地開発基金	事業の円滑な執行を図るため、公共の用に供する土地などを取得するために設けられた基金

元気かさま 応援基金 (ふるさと納税)

笠間市は、歴史と文化の薫る豊かな地域資源や広域交通の優位性を生かした独自のまちづくりを推進するために、「元気かさま応援基金」を設置しています。

この基金は、笠間市を応援してくださる方々からの「ふるさとづくり寄附金」を積み立てて、寄附の目的に沿った事業の財源として活用しています。

平成27年度にいただいた寄附金は、平成28年度の以下の事業に活用させていただく予定となっています。

○元気かさま応援基金活用事業一覧

(単位：千円)

事業の区分	事業名	活用金額	担当課
まちづくり支援事業	協働のまちづくり推進事業	82	市民活動課
	地域集会所建設（増改築）事業	2,770	市民活動課
	市民活動助成事業	1,630	市民活動課
子ども支援事業	青年海外派遣事業	1,601	市民活動課
	地域子育て支援拠点事業	2,641	子ども福祉課
	かさま健康ダイヤル24事業	3,888	健康増進課
芸術・文化支援事業	高齢者芸術鑑賞事業	1,200	生涯学習課
	かさま国際音楽アカデミー事業	5,016	生涯学習課
	文化財振興事業	559	生涯学習課
	全国子ども陶芸展推進事業	3,617	生涯学習課



かさま国際音楽アカデミー事業



青年海外派遣事業



かさま健康ダイヤル24事業

○ふるさとづくり寄附金

ふるさとづくり寄附金は、インターネットの公式サイトや、市民活動課窓口で受け付けています。特典として送らせて頂く笠間の特産品は、寄附者の方が選べるようになっています。

「応援」いただいた方の思いと寄附金を、各事業に大切に活用させていただきます。

皆さまの温かい「応援」をお待ちしています。



甘熟栗



かさまの「う米」

公式サイト <http://www.citydo.com/furusato/official/ibaraki/kasama/>

VII. 市債の状況

平成28年度の借入額は約56億1,200万円
 年度末現在の残高は約553億5,000万円の見込

『市債』とは、市が金融機関等から借り入れるお金のことです。事業を実施する資金として借り入れ、後年度に返済（償還）していきます。

今年度は、借入予定額が前年度当初に比べて約14億5,100万円増えています。一般会計において、認定こども園整備事業債の約6億150万円や笠間公民館リニューアル整備債の約2億9,690万円を借り入れることが主な増の理由となっています。

また、一般会計における借入額を市債の区分別にみると、合併特例債が約26億5,400万円、普通交付税の代替措置である臨時財政対策債が14億2,000万円となっています。

○市債状況一覧

(単位：百万円)

会計・市債区分	平成27年度末 現在高見込額	平成28年度		平成28年度末 現在高見込額
		借入予定額	元金償還予定額	
一般会計	30,409	4,074	2,765	31,718
普通建設事業債等	5,883	0	812	5,071
合併推進債・ 合併特例債	9,240	2,654	945	10,949
臨時財政対策債等	15,286	1,420	1,008	15,698
公共下水道事業 特別会計	16,175	976	1,064	16,087
農業集落排水事業 特別会計	4,062	137	193	4,006
岩間駅東土地区画 整理事業特別会計	70	0	24	46
病院事業会計	97	385	6	476
水道事業会計	3,297	40	320	3,017
合 計	54,110	5,612	4,372	55,350

合併特例債	合併した市町村が実施する、建設計画に基づいたまちづくり事業のために借り入れるもの
臨時財政対策債	普通交付税の代替措置として借り入れるもの

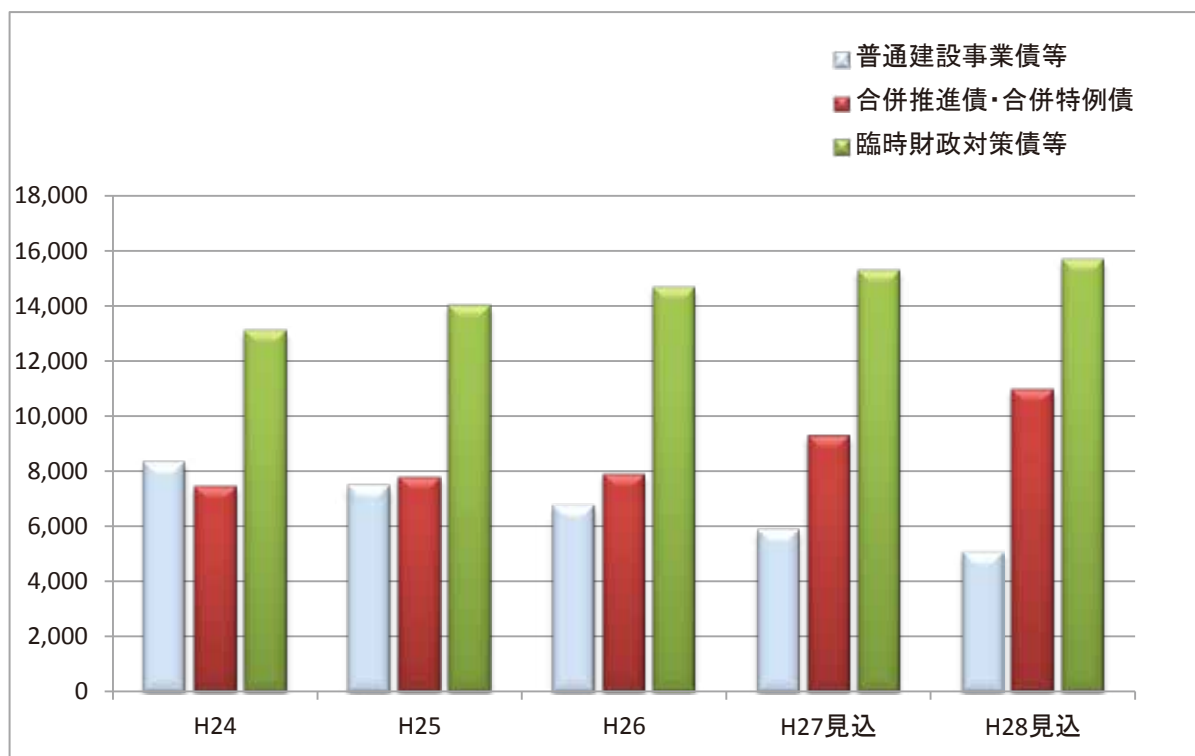
○年度末の現在高推移

一般会計の年度末現在高は、昨年度よりも約13億900万円増加となっています。増加の主な要因は、地域交流センターや認定こども園の建設、（仮称）地域医療センターかさまの建設となっております。直近5年間の推移は年々増加している状況です。特別会計や企業会計全体の残高は減少していますが、一般会計の残高が増えているため全体として昨年度よりも増加となっています。

高利率の借入については、積極的に繰上償還をし、毎年の借り入れについては最小限のものにしていますが、毎年借り入れている合併特例債や臨時財政対策債の残高が増えていることが主な要因となっています。

【市債の現在高推移（一般会計）】

（単位：百万円）



いな吉メモ⑥ 『どうしてお金を借りているの??』

今年度は約56億円を借り入れて、事業を実施するための資金にする予定になってるんだ。「借金をしないと事業ができないうら、事業自体を見直したほうが良いのではないか??」と思う人がいるかもしれないけれど、実は、資金が不足するから借り入れているだけじゃないんだよ。

もし、認定こども園や地域交流センターなどの施設をつくる時にお金を借りなかったら、今年度の税金で全ての経費をまかなわなければならないんだ。でも、たまたまその施設を整備をした年だけ住んでいた人がいたら、施設を利用しないのに自分の税金が使われているようで、なんだか不合理な気がするよね。

そこで、お金を借り入れて整備して、借金を毎年返済することで、将来にわたって実際の利用者の世代が経費を負担するかたちにしているんだ。



VIII. 合併特例債の使い道

合併特例債とは、合併した市町村が新しいまちづくりのため、新市建設計画に基づき実施する事業のうち、特に必要と認められる事業に対する財源として、借り入れることができる地方債（借入金）のことをいいます。

合併特例債は、事業費のおよそ95%まで借り入れることができ、また、将来支払う返済金の70%が普通交付税によって補填されるという、非常に有利な財源となっています。

笠間市は、平成27年度までに、131億1,830万円の借り入れを予定しています。

【今までの借入金額と主な活用事業】

道路整備事業 44億9,590万円

主な事業

- 1級12号線
(岩間支所～畜産試験場跡地)
- 上町大沢線
- 南友部平町線
- 来栖本戸線
- 笠間小原線(桂町工区)

都市整備事業 25億6,100万円

主な事業

- 岩間駅周辺整備
- 岩間駅東大通線延伸部
- 岩間地区市街地浸水対策
- 笠間稲荷門前通り
- 友部駅周辺整備(地区道路)

学校施設等整備事業 27億7,950万円

主な事業

- 友部中学校校舎耐震補強
- 岩間中学校校舎建設
- 笠間小学校校舎耐震補強
- 笠間学校給食センター建設
- 穴戸小学校屋内運動場耐震補強

その他 32億8,190万円

主な事業

- 市民センターいわま整備
- 児童館整備
- 笠間市民体育館整備
- 地域交流センター整備
- 認定こども園整備

【平成28年度の借入予定金額と主な活用事業】

平成28年度借入予定金額 26億5,420万円

主な事業

- 地域交流センター整備
- 認定こども園建設
- (仮称)地域医療センターかさま建設
- 笠間中学校武道場建設
- 笠間公民館リニューアル

合併特例債(建設事業)には、借入可能上限額が定められていて、笠間市は約322億円が上限となっているよ。



いな吉メモ⑦ 合併特例債の活用

合併特例債の活用は、合併初年度を含む10ヵ年度(笠間市では平成27年度まで)に限られていたけど、東日本大震災によって被災した特定被災地区は、期限を延長することができるようになったんだよ。

笠間市も財政上有利な合併特例債を活用するため、平成37年度まで延長したよ。

わたしたち笠間市民のねがい ー笠間市民憲章ー

笠間市は、豊かな自然に恵まれ、先人たちが育んできた歴史や文化の薫るまちです。わたしたちは、このふるさとを愛し、市民相互の交流につとめ、「住みよいまち 訪れてよいまち 笠間」をめざします。

自然を愛し、美しくゆめのあるまちにしよう
健康で働き、元気でいきがいのあるまちにしよう
歴史と文化を大切にし、豊かでうるおいのあるまちにしよう
思いやりの心を育て、明るいほほえみのあるまちにしよう
きまりを守り、安心でやすらぎのあるまちにしよう

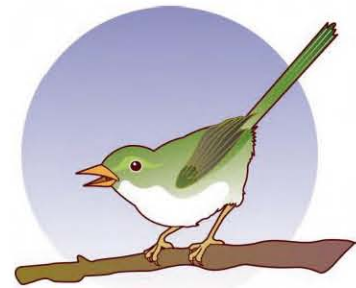
笠間市の花・木・鳥



きく



さくら



うぐいす

平成28年度「わかりやすいかさまの予算」

平成28年3月発行

編集・発行 笠間市総務部財政課

〒309-1792

笠間市中央三丁目2番1号

TEL 0296-77-1101

URL www.city.kasama.lg.jp

加茂

